

男の4大特集。コーヒー、オーディオ、文房具、ロレックス

mono

モノ・マガジン情報号

新製品から時代を読む

2018 NO.804

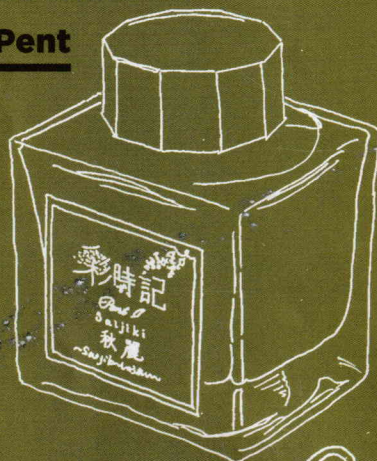
平成30年5月2日発行・発売（毎月2回2日・16日発行・発売）
第37巻第9号・通巻804号 昭和57年11月2日第3種郵便物認可

www.monomagazine.com

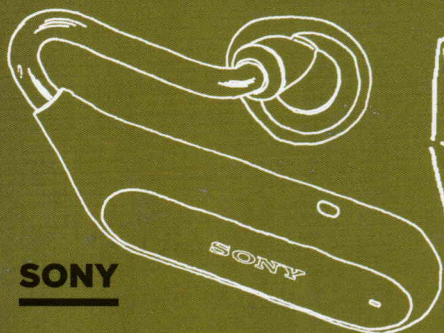
定価637円

5-16

Pent



SONY



Cores



CARL

ROLEX



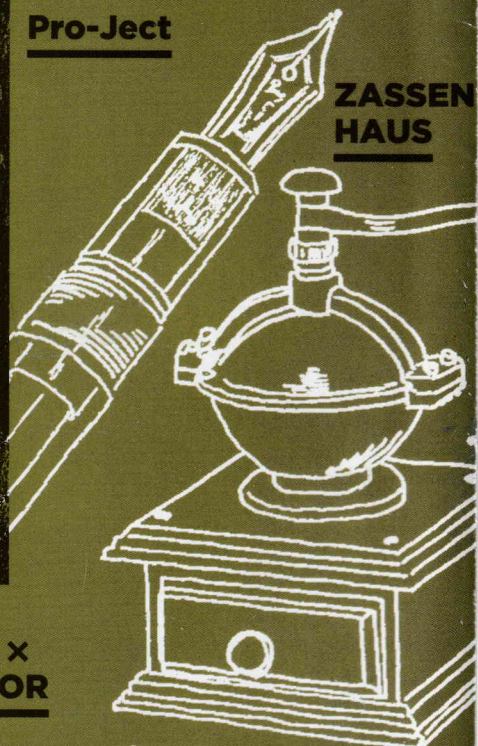
趣味な男の4大特集

コーヒー オーディオ 文房具 ロレックス

家で飲むコーヒーが一番美味しい！
盛り上がる「最新コーヒーギア」と、
デジアナ美音を極める「オーディオニ刀流」。
機能性＆デザインで選ぶ「傑作文具」。永遠の憧れ
「ロレックス徹底解説」の4大特集でお届けする。

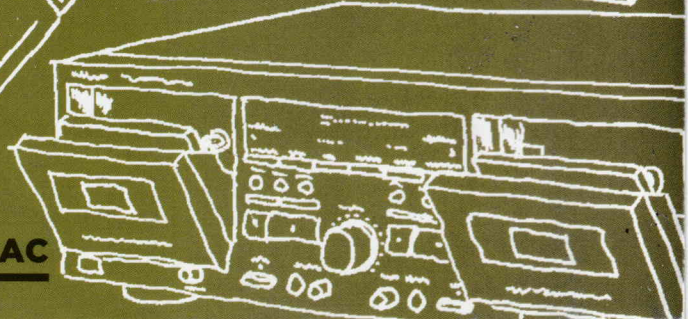
Pro-Ject

ZASSEN
HAUS



Pent x
SAILOR

TEAC



フラツと訪れた米国の見本市セディアで、目についたボール型手エアに座ってみたら、遮音性が抜群にイイ。ひよっとしてこれにスピーカーを内蔵したら面白いんじゃないか? ドルビーアトモスの本格サラウンドを自宅で体験できたら素晴らしいじゃないか!。とまあ、ここまでは時代に敏感な人なら考えるかもしれないが、ご覧のクールに決める相澤寛さんは実際に作ってしまった。元は音響メーカーのエンジニア。しかも、定年後に手がけた太陽光パネルの架台が軌道に乗り、開発資金も目途がついたこともあり、建築を学んだ娘の理恵さん(CAD担当)を巻き込んで試作に取り組んだ。

しかし、試作品を作るにも金型を含め、相当な時間を要するわけだが、なんとデザインから音作り、スピーカーユニットの設計までフルオリジナルでこなしてしまったというからスゴイ。あの閃きから約2年半の開発期間を経て、ついこの5月から一般発売が始まる! (完全受注生産)。

「会社員時代からスピーカーの設計は数多く手がけてきましたけど、作りたい音と顧客から求められるモノは違ふんです。やっぱり一度は自分の音、自分のブランドを作ってみたかったんです。一番苦労したのは、このサイズ感。大きすぎても小さすぎてもダメ、理想の空間にすべくメルセデスSクラスのリアシートの座り心地も参考にしました。ようやく思い描いた音作りもできた、納得の作品です!」

写真/篠田麦也 文/堀田成敏

音に包まれてみませんか?

こうして相澤さん渾身の作「VRS-1」は、ドルビーアトモス再生に必要な11・2チャネルのスピーカーをすべて内蔵し、AV・VRに最適な椅子型スピーカーシステムと相成った。では試しにと、レディー・ガガのライブ映像を視聴したが、コレが想像以上に凄かつ

た。目の前でガガが歌ってくれて、オーディエンスの歓声にマルツと包み込まれる感じ。しかも構造上、遮音性の高いシェルと内面の吸音材で音が外に漏れにくい設計だからマンションでも気兼ねナシ。お値段100万円(税別)を切った、赤字覚悟の勉強価格です!

mono注目!

クッションは座り心地にもこだわり、本体とのカラーコーディネートも見事。音にこだわり、ユニットを自作してしまうなんて、さすがのエンジニア魂。

本体は上下とスタンドに三分割できるので、一般的な家庭のドアなら搬入可能。組み立てはふたりいれは簡単、転倒試験もクリアしており、その点も安心だ。

オーディオハート代表取締役 相澤 寛さん
日大理工学部を卒業して北斗音響(後のミネハア音響)に入社。以来、国内外を問わずスピーカー畑を歩んで42年、ついに夢を実現!

VRS-1を駆動させるにはAVアンプとサブウーファー用アンプが必要だ。テレビを新調しても総額150万円ほどで贅沢なシステムを構築できる。

オーディオハート

AV・VRSスピーカー「VRS-1」
価格105万8400円(受注生産、納期は3~4カ月)
問オーディオハート <http://www.audio-heart.co.jp>

Spec

●スピーカー: フロントL/R: 8cm 2ウェイ×2、センター8cm 2ウェイ×2(左右配置し、仮想センター再生)、サラウンド5cmフルレンジ×8(サイドL/R、リアL/R、天井×4)、サブウーファー16cm×2(アルミコーン、超低共振周波数設計) ●サイズ: 幅995×高さ1340×奥行1080mm(スベアにより+50mmまで高さ調整可能) ●重量: 本体93kg

55インチの液晶であれば1.1mほどが適正距離。また、PSのVRを試してみたら、没入感にハマって、なかなか現実世界に戻れなかった。

